

<b>授業科目名</b>	家族援助論(2300233)		
<b>時間割名</b>	家族援助論(53203)		
<b>時間割担当</b>	廣川聖子		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	1 選択
<b>曜日・時限</b>	金・3~4		

### 授業の目標・概要

現在の家族を取り巻く社会環境とそれに伴い生じる諸問題から、それぞれの家族のニーズに応じた家族援助の方法を学ぶ。家族援助は患者ケアの補足的なものから、家族全体のセルフケア能力に対する支援へと変化し発展している。対象を家族全体としてとらえ、家族の健康へのアプローチを行う方法論の基礎知識を学ぶ。家族援助の視点を生かすために、家族の概念・家族看護過程・家族看護を支援する理論を中心に学習する。

### 学習の到達目標

家族援助の基本となる知識と方法を学ぶことを目的とし、以下の2点を到達目標とする。

- 1) 看護の対象としての家族の特性を理解する。
- 2) 家族看護過程について理解する。

### 授業方法・形式

講義形式、および一部グループワークを取り入れて進めていく。また、授業中に課題に取り組みレポートを書く場合がある。

### 授業計画

- 第1回 「家族」とは、自分の「家族」について考えてみよう
- 第2回 家族の形態と機能、家族を取り巻く環境
- 第3回 「家族看護学」とは
- 第4回 家族理解のための諸理論
- 第5回 家族看護における看護者の役割
- 第6回 家族看護過程... 家族看護過程とは、理論・モデルに基づいた家族アセスメント
- 第7回 家族看護過程... 事例を基に家族アセスメントについて考える
- 第8回 まとめ

### 成績評価の基準

定期試験 50%、課題レポート 40%、学習態度（取り組みの積極性・グループワークへの参加度・発言等）10%

### 授業時間外の課題

新聞の熟読やTVのニュースを視聴し、家族を取り巻く社会環境やそれに伴って生じる様々な問題に関心を持つ。授業において出された課題レポートの作成をする。

### メッセージ

講義時間内にお伝えします。

### 教材・教科書

特定のテキストは使用せず、授業内容にそった資料等を配布する。

### 参考書